

教育が変わる、学校がよくなる

第3の教育改革

3 いろいろな心配

②非行が増加しないだろうか
確かに、子どもたちが時間を
持て余したり、目的のない生活
を続けていると非行に走るの
はないかという心配が出てきま
す。

しかし、子どもたちを温かく
見守る環境があれば大丈夫で
す。それには、学校・家庭・地
域・行政の4者が、それぞれの
役割を果たしながら連携を密に
していくことが必要です。

学校からは、望ましい休日の
過ごし方を推奨してほしいと思
います。

家庭では、お手伝いの奨励や
時間を守った規則正しい生活の
指導が今以上に必要となる
でしょう。

地域では、「地域の子どもは、
地域で育てる」体制づくりと気
運の醸成が求められます。

行政は、学校・家庭・地域の
要となり、調整役を果たさなけ
ればならないと考えます。

横越町では、
子どもたちが2日続きの休日
を地域で有意義に過ごせるよう

に「地域子どもセンター」の
立ち上げを進めています。ここ
では、子ども同士、あるいは高
齢者等いろいろな世代の人々と
交流し、人間的なふれあいを深
める場にしたいと考えています。

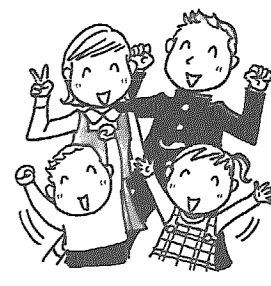
また、青少年の健全育成をテ
ーマに「教育シンポジウム」を
開催し、学校・家庭・地域・行
政それぞれの立場からの情報を
交換し合うことにします。

③部活動はどうなるのか
余暇を利用し、心身を鍛練す
る部活動が、子どもたちの健全
育成に果たしてきた役割は、非
常に大きなものがあります。

この部活動が今後どうなるの
か大きな関心が持たれています。
学校週5日制の趣旨は、2日間
の休みを「できるだけ家庭や地域
で過ごす」となっています。

横越中学校ではしばらくの間、
原則として今までどおりの方法
で実施することとしています。
しかし、一部の部活動について
は、今後、社会体育に移行する
方向で検討を進めています。

なお、部活動ではないのです



が、小・中学校とも、運動会・
文化祭などは、今までどおり
土・日曜日に実施する予定で計
画を進めています。

4 まとめ

いよいよ2か月後の4月から、
学校が週5日制になり、学習指
導要領も教科書も新しくなりま
す。

この教育改革は、21世紀の日
本の行く末を左右するものだと
もいわれています。横越町にお
いても、「町づくりは、人づくり
から」を町是として、広く市民
の皆さまのご理解とご支援を得
て、「家庭教育の充実・子育て支
援」「地域の教育力の回復」「基
礎学力の定着・向上」など、教
育改革の実を上げていきたいと
考えています。

これまで3回にわたって連載
した「教育が変わる、学校がよ
くなる」…第3の教育改革」シ
リーズは、今回をもって終了し
ます。

増加する覚せい剤乱用 少年の防ごう 覚せい剤等薬物乱用

警察庁ホームページ
<http://www.npa.go.jp/>

平成12年中に覚せい剤事犯で
検挙された少年は、1、137
人。前年に比べて141人増加
し、特に中・高校生の検挙人員
が増加しています。「ダイエツト
に効果がある」「頭がすっきりし、
受験勉強に効果がある」などと、
誤った認識で覚せい剤に手を出
したり、また「S(एस)」「ス
ピード」といったファッション

パスポートのトラブルが増えています

パスポートとは、あなたが日
本国民であり、パスポートに記
載されている本人であることを
日本政府が証明している大切な
身分証明書です。

現在、年間約4万人以上もの
人がパスポートの紛失・盗難に
遭っています。

盗難に遭ったパスポートは改
ざんされ、不法就労や犯罪にか

感覚の高い名前と呼び、友だち
付き合いの一つとして覚せい剤
を乱用するなど、薬物に対する
危険性、有害性の認識や抵抗感
が希薄になってきている現状があ
ります。こうした傾向は、平成7
年以降の「第三次覚せい剤乱用
期」と呼ばれる情勢の特徴であ
り、大きな社会問題となってい
ます。どんなに名前を変えたと
ころで、覚せい剤は心身をむし
ばむ恐ろしい薬物です。

また、自分の人生を失うだけ
でなく、家族や友人、そしてま
ったくかわりのない他人ま
でも不幸に巻き込んでしま
う例も枚挙にいとまがありません。

ほんの一瞬の心の迷いが、取
り返しのつかない過ちを生んで
しまう覚せい剤。正しい知識と
理解を持ち、決して手を出さな
い姿勢が何より大切です。

かわる人間に悪用されてしま
う場合があります。

海外では、パスポートは自分で
常に携帯し、他人に預けること
は絶対にやめましょう。また、
国内では、金庫や引き出しなど保
管場所を決めておくとう安心です。

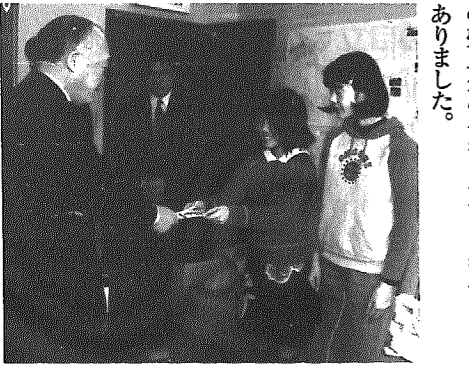
外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/>

耳よりの情報 ～広域情報ネットワーク～

<水原町>
平成14年春巡業大相撲水原場所
▶日時 4月9日(火) 開場：午前8時
終了：午後3時(予定)
▶場所 水原町総合体育館
▶チケット販売所 水原町役場、水原町総合体
育館、水原町商工会
▶チケット料金 タマリ席14,000円(1人分)、
マスS席44,000円(4人分)、
マスA席38,000円(4人分)、
特別イス席7,000円(1人分)、
チケット購入の際、飲食・
相撲土産セットを予約でき
ます。大相撲水原場所開催実行委
員会事務局(水原町役場内)
☎0250-62-2510

▶問い合わせ

町の福祉に役立ててほしいと、
横越中地区青少年育成会(会長
堀善蔵さん)より、「スルメ募金」
の売上金の一部3万円の寄付が
ありました。



毎年大晦日の夜、横越神社へ
二年参りに訪れた人たちに對し
て、育成会の役員や子どもたち
がスルメを販売し、その売上金
の一部を寄付しています。
大変ありがとうございました。

平成14年度
陶芸教室会員募集

◆申込期限 3月15日(金)
◆会費 1か月千円、およ
び実費負担
◆申込先 横越町老人福祉セン
ター(役場となり)
☎3851-4321
※年齢、性別等に制限はありません
が、町内在住者に限ります。
(横越町陶友会
代表 三原利春)

2月7日は北方領土の日

毎年2月7日は、「北方領土の日」です。北方
領土問題に対する国民の皆さんの関心と理解をさ
らに深め、全国的な北方領土返還要求運動の推進
のため定められました。

1855年2月7日(旧暦では安
政元年12月21日)、伊豆の下田
において、日露通好条約が調印
されました。この条約で日露両
国の国境が平和裏に定められ、
北方四島が日本の領土として初めて国際的に明確
にされたのです。

歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四
島は、我が国固有の領土です。しかし、北方四
島は先の大戦が終戦となった後に、旧ソ連軍によ
って占領され、半世紀以上を経過した今日でも、
その返還はなされていません。

北方四島の返還を現実のものとするためには、
国民の皆さんの関心を一層深め、世論を団結させ
て粘り強く返還要求運動を展開させていく必要が
あります。



俳句 (公募作品)

一年の日数が足りぬ大晦日
宿の膳名ばかりなりずわい蟹
隣家と量見位べて雪卸す
大年や替えて厨のカーペット
一服も家根の上なり雪下ろし
ずわい蟹坐の中に孫はしゃぐ
大年のスーパー混んであたりけり
大晦日母の采配手際よく
はやばやと風呂の湯が沸き大晦日
大晦日母が送りし宅配便
茹でられていよよ眞つ赤にずわい蟹
雪下るす兄に負けじと弟も
日捲りや光陰惜しみ大晦日
尼の庵男数人雪下す
喪の明けぬ家になりけり大晦日
持て成しの客に目を剥きずわい蟹
波音や膳に一匹ずわい蟹
降り止まぬ空へ小言や雪下し
大年や主人は行事落度なく
貸し借りも無くて気楽な大晦日
何や可や心忙しき大晦日

伊藤 栄岳
伊藤 吉作
市村横雲子
坪谷十九一
草野青踏子
小林 竹生
坪谷 耕雨
細山芳洲子
谷井野武士
佐藤 豊吉
坪谷いとお
江口 はる
高橋 鴉子
小林千恵子
藤崎 春月
中川 照子
藤崎 道子
村木緋佐子
石井 樂秋
神田 斗子
今井 夫子

12月資源ゴミ収集実績

空きびん	7.4 t
空き缶	4.9 t
古紙	42.9 t
ペットボトル (拠点回収分)	0.5 t
合計	55.7 t

◆応募資格
・年齢18歳以上(高校生は除く)
・身長150cm以上165cm位の健
康な女性
・未婚、既婚、住所は問いません。
◆応募期限 2月28日(木)
◆その他 応募者の中より書類
審査で選考し、二次審査で決
定。夜間3回位の練習あり。
◆応募・問い合わせ 分水町観
光協会(分水町役場内)
☎0256-97-2111